

西成区民センターはコミュニティ活動及びコミュニティ施設の運営を通じて心のふれ合う連帯感豊かなまちづくりを推進しています。

アート・ウェイ・オオサカ～特別篇～

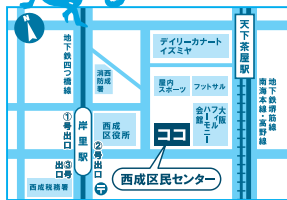
「アリスと歯車」

2016年4月2日(土)3日(日) 12:00～19:00(両日とも)
入場料300円(15歳以上入場可)



紳士、淑女のお越しを
お待ちしております。★詳しくは→ <http://awo3.webnode.jp/>
または【アート・ウェイ】で検索

フェイスブック <https://www.facebook.com/awo2014>
ツイッター https://twitter.com/AWO_Nishinari



大阪市立 西成区民センター
〒557-0041 西成区岸里1-1-50
・地下鉄四つ橋線「岸里駅」下車
②番出口すぐ(区役所の隣)
・南海本線・高野線・地下鉄堺筋線
「天下茶屋駅」下車西出口徒歩5分
電話：06-6651-1131

2014年夏から始まった「アート・ウェイ・オオサカ」は、大阪のもっとも大阪らしい場所、西成から発信するアートの道。

そこは、作る人と鑑賞する人が出会う散歩道。花を買って部屋に飾るように、気楽に気負わず、アートをもっと楽しんでほしい。そんな思いからこのアートの祭典は企画されました。

そして今年の春は、今までの2回とは、ちょっとちがった趣向で開催いたします。「不思議の国のアリス」と「スチームパンク」の世界をモチーフとしたハンドメイド・マーケット、公募作品展、ファッション・ショー、飲食ブースのマッドティーパーティーや写真撮影ブースに男女更衣室、手荷物預かりなども用意し、大人が大いに楽しめるイベントとなりました!!



ハンドメイド・マーケットや公募作品展
リズム・ワークショップ・手作り体験・多彩なメニュー

★大いに盛り上がった昨年の様子★

アート・ウェイ・オオサカ2

Art Way Osaka 2

～2015年8月8日(土)9日(日)に開催いたしました。～

おおさか歴史探訪 99

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。



安政地震津波碑

— 後世への警鐘として —

この3月で東日本大震災から5年、あの時は大阪でも体感できるほどの揺れだったことを思い出します。昨年12月のこと、国連総会第2委員会において11月5日を「世界津波の日」とすることが採択されたのをご存知でしょうか。この日は1854(安政元)年にあった安政南海地震の発災日にあたり、夕闇迫るなか紀州有田を襲った大津波から逃げ遅れた人々を稲むらに火をつけて高台に避難させた濱口梧陵の逸話「稲むらの火」にちなんだものです。

同日の津波は大阪の安治川・木津川の両川口にも襲いかかり、川筋に停泊していた大小の船が押し流されて安治川橋や木津川に架かる亀井橋のほか道頓堀川筋では大黒橋より西の諸橋を崩落させました。またこの時、地震の揺れを恐れて小船に避難していた人も多かったため、大惨事をもたらすことになりました。

その犠牲者を供養し、津波被害の状況を後世に伝えて警告するため「大地震両川口津波記」(浪速区幸町3丁目)という石碑が地元の人たちによって翌年に建てられ、現在、大阪市指定有形文化財となっています。また、同様の趣旨で同年に建立された石碑が四天王寺境内にも残されています。こちらは今、右写真のように無縁墓の最上段中央に置かれ、正面に「南無阿彌陀佛」と刻まれています。もとは元三大師堂の前にあった池端の目立つ場所にあったといわれています。両石碑とも大阪を襲った大災害の記録として、今も多くのことを語りかけてきます。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



四天王寺・元三大師堂の門前西側にある供養碑

